



2020年2月28日

LegalForce 社への投資実行について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下「京都 iCAP」）（本社：京都市左京区、代表取締役：室田 浩司）を無限責任組合員とするイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）は、京都大学の研究成果を活用するベンチャー企業である株式会社 LegalForce（以下「LegalForce 社」）（本社：東京都中央区、代表取締役：角田 望／小笠原 匡隆）に対する追加投資を実行いたしました。

○LegalForce への投資実行について

LegalForce 社は大手法律事務所出身の弁護士と情報処理工学を専攻したエンジニアチームが、自然言語処理技術に高い知見と実績を有する森信介教授（京都大学学術情報メディアセンター／情報学研究科 知能情報学専攻）とともに立ち上げたリーガルテック・ベンチャーです。グローバル化・複雑化するビジネス環境やコンプライアンス強化の要請等から、大手企業の法務部門や法律事務所における労働環境は過酷さを増しています。

LegalForce 社は、契約書レビュー業務を効率化して法務プロフェッショナルがより高度な判断業務に集中できるようにすることを目指し、AI を搭載した契約書レビュー支援サービス「LegalForce」を提供しています。リーガルテック市場が本格的に立ち上がる中、「LegalForce」は大手上場企業の法務部を中心に顧客層を広げ、契約書レビューAI マーケットをリードしています。

LegalForce社は、京都大学学術情報メディアセンターと共同研究を実施しており、自然言語処理及び機械学習技術による契約書レビュー精度向上に向けた研究開発を進めています。また京都大学大学院情報学研究科 末永幸平准教授（情報学研究科 通信情報システム専攻コンピュータ工学講座）からは、学術指導契約を通じたサポートを受けています。

京都 iCAP は、テクノロジーでリーガルサービスに変革をもたらし、法務のデジタルトランスフォーメーションをけん引しようとする LegalForce 社の挑戦を高く評価し、今回 LegalForce 社が実施した総調達額約 10 億円のシリーズ B ラウンドに、WiL, LLC（米国カリフォルニア州、Co-Founder CEO：伊佐山 元）、株式会社ジャフコ（本社：東京都港区、取締役社長：豊貴 伸一）、SMBC ベンチャーキャピタル株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：石橋 達史）などと共に参加し、7800 万円を引き受けました。



株式会社 LegalForce 会社概要

設立 2017年4月21日
事業内容 法律業務に関するソフトウェアの開発・運営・保守
本社所在地 東京都中央区
代表取締役 角田 望／小笠原 匡隆

○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は、京都大学 100%出資子会社として、京都大学を中心とした国立大学から生まれた研究成果を活用する企業を対象に投資やその他の事業支援を行っております。2016年1月には京都大学と民間企業からの出資を受け、同社を無限責任組合員とする160億円の KYOTO-iCAP 1号ファンドを組成しました。同ファンドの満期は最長20年間に設定しており、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果の実用化を長期にわたって支援することが可能となっています。また、起業に興味を持つ方々を対象とした会員組織である「ECC-iCAP」の運営を大学から受託しており、スタートアップ企業の経営者候補の発掘・育成にも力を入れています。

【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1
事業企画部長（広報担当） 河野修己
TEL：075-753-7588 FAX：075-753-7592
E-mail：info@kyoto-unicap.co.jp